

衆議院外務委員会ニュース

平成 29.5.12 第 193 回国会第 14 号

5 月 12 日（金）、第 14 回の委員会が開かれました。

1 原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とインド共和国政府との間の協定の締結について承認を求め るの件（条約第 3 号）

- ・岸田外務大臣、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・笠井亮君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって承認すべきものと決しました。
（賛成一自民、公明 反対一民進、共産、維新、自由）

（質疑者及び主な質疑内容）

黄川田 仁 志君（自民）

- ・原発をめぐる世界の状況と将来の見通しについて、政府はどのように評価しているのか。
- ・本協定において、福島第一原発事故の教訓はどのように反映されているのか。
- ・ユネスコの「世界の記憶」に関する事前協議制の概要を伺いたい。

岡 本 三 成君（公明）

- ・本協定においては、インドが核実験と明らかに認識できる行為を行った場合、我が国は協力を停止するとの理解でよいか。
- ・原子力損害の補完的補償に関する条約（CSC）とインドの原子力損害賠償責任法との齟齬に関して、政府が適切に対応する準備はあるか。
- ・我が国が米国に対し、パリ協定から脱退せず、他国の同協定への参加を後押しすることを求める必要性について、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

小 熊 慎 司君（民進）

- ・本協定締結により NPT 非加盟国であるインドを「国際的な不拡散体制に実質的に参加させることにつながる」とする根拠を具体的に説明いただきたい。
- ・本協定に基づく我が国の協力により建設された原子力発電所が稼働している状況で、本協定を終了させることは現実的な可能なのか。
- ・インドによる核実験を我が国が 100% 把握することは難しいと考えるが、岸田外務大臣の認識を伺いたい。

寺 田 学君（民進）

- ・米国等と原子力協定を締結しているインドは既に「国際

的な不拡散体制に実質的に参加」しているのではないかと。

- ・本協定は我が国がこれまで締結した原子力協定と比較して最も厳しい規定が置かれているか否かについて、岸田外務大臣の認識を伺いたい。
- ・「9 月 5 日の声明」に書かれている核兵器の先制不使用の政策が転換された場合、本協定の下での両国間の協力の不可欠の基礎が毀損されたと理解してよいのか。

笠 井 亮君（共産）

- ・「9 月 5 日の声明」の「自発的かつ一方的な核実験に関するモラトリアム」の解釈についてインド政府から具体的な見解の表明はあったのか否か伺いたい。
- ・本協定が協定の終了について包括的に規定しており理由のいかんを問わず終了できることで、既存の原子力協定と比較してより強い権利を有しているとの理解でよいのか。
- ・公文に法的拘束力があるとする我が国政府の見解とは異なり、法的拘束力はないとの見解をインド政府が示しているとの報道について岸田外務大臣の見解を伺いたい。

原 口 一 博君（民進）

- ・本協定を締結する趣旨はインドに対して未臨界核実験も含めていかなる核開発も許さないということと考えるが、政府の認識を伺いたい。
- ・本協定ではインドに対しウランの濃縮を認めているが、結果として軍事転用可能なウランが増加することにはならないか。
- ・核セキュリティの観点から高高度核爆発（EMP）攻撃に備えるため原子炉等規制法を改正する必要があると考えるが、政府の認識を伺いたい。

足立 康史君（維新）

- ・インドが核実験の一方的モラトリアム宣言や本協定の締結を行うのは、それらを行ったとしてもなお、他の核保有国と同等の核オプションを維持できるからではないか。
- ・我が国は、核ヘッジ戦略として、北朝鮮が核を保有するならば我が国も核保有を検討すると宣言すべきではないか。
- ・北朝鮮の弾道ミサイルによる脅威に備えるために避難訓練等を行うべきではないか。

玉城 デニー君（自由）

- ・被爆国である我が国が、核保有国であるインドと本協定を締結することにより得られる国益とは何か。
- ・本協定は、20%以上のウラン濃縮を一定の条件の下で認めるなど、I A E A 保障措置による担保という点を重視するあまり、インドの原子力政策に十分な縛りをつけるものになっていないのではないか。
- ・本協定は、本協定の下での協力の停止又は協定を終了させる判断を行った場合に原発の資機材等の返還を求める権利を定めているが、これは技術的に可能なのか。

- 2 ①投資の促進及び保護に関する日本国政府とケニア共和国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 11 号）
- ②投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とイスラエル国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 12 号）
- ③社会保障に関する日本国とスロバキア共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 13 号）
- ④社会保障に関する日本国とチェコ共和国との間の協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（条約第 14 号）
- ・岸田外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。